

# リーブラ便り

2010年8月 VOL. 16



リーブラのマークは、「男女平等」の願いをこめた「てんびん座（リーブラ）」をモチーフにしています。

## 目次

### リーブラ館内掲示が新しくなりました。

1. リーブラ館内掲示  
リニューアル！！
2. 講座のご案内と報告
3. インターンシップ開催
4. 22年度 事業紹介  
尊重されていますか？  
あなたの気持ち
5. ★芝浦運河祭り★  
ボランティア募集！
6. 心のサポートルーム

★別紙 新着図書ご紹介  
特集 男女平等について  
考えてみませんか？



## 学生が就業体験



8月18日（水）～  
8月26日（木）  
9：00～17：00  
上記期間、リーブラで、インターンシップ生9名が就業体験をします。  
リーブラをご利用の皆さま、よろしくお願ひします！！

## リーブラ3F交流コーナー 廊下掲示リニューアル！

リーブラでは情報提供事業の一環として、館内掲示を現在順次リニューアルしています。

### <女性関連施設情報>

リーブラ3F交流コーナーに23区内女性関連施設の情報はじめ国立女性教育会館、東京ウィメンズプラザ、女性と仕事の未来館、などの資料を取り揃え見やすく設置しました。女性関連施設の多くは政府の予算縮小の流れを受け、苦境に立たされています。そういった中で、社会における存在感を高めていくためにも、施設が相互に力を合わせ、主体的に情報を発信する必要があると認識しています。

### <団体情報>

リーブラで活動する一般・推進団体の情報を発信する「団体活動

紹介コーナー」を3F廊下、「団体作品展示コーナー」を交流コーナーに新設しました。地域における男女平等参画拠点施設として、団体からの情報発信を今まで以上に効果的にサポートし、より多くの方が団体の活動や、男女平等について興味・関心を持つ機会を提供します。ご利用方法などは次号リーブラ便り・館内掲示にてお伝えする予定です。

### <男女平等参画情報>

男女平等って何だろう？そんな疑問にお答えするため、男女平等についての基礎知識を「リーブラ展示男女平等への歩み」と題し、パネルで展示しています。

これからもテーマに合わせた情報の収集・発信を行っていきます。ご意見・ご感想などお寄せください。

【10年たっても男女共同参画社会は実現していない】～厳しい女性の雇用状況～

男女共同参画基本計画（第1次計画）から10年が過ぎました。男女の賃金格差は改善されてきたとはいえ女性労働者の賃金の平均は男性の69.8%。格差の背景には結婚・出産を機にした離職や非正規雇用が進んでいること等が挙げられます。未だ仕事と家庭の両立は女性に負担がかかることが多く、女性はたくさんの制約の中でしか働けない状況にあります。しかし一方では、少子高齢化による労働力人口減少を緩和できるのは、20代～40代の女性（M字カーブの落ち込み部分）と考えられており（男女共同参画白書）、現実との乖離が激しく見られます。就労意欲のある女性が、自分らしく生き、働くことができる、労働環境の整備や社会制度の改正が、今まさに求められているのではないのでしょうか。

女性のための  
グループカウンセリング  
全2回



日時：9月17日（金）  
10月8日（金）  
19:00～21:00

講師：廣畑 明美氏

場所：4階 学習室C

参加費：無料

申込：先着10名（要予約）

保育：要予約  
1歳～未就学児まで  
（9月17日→9月3日  
10月8日→9月24日締切）

今の働き方、これでいいのかな？これからどうしよう…。働く女性を取り巻く環境は厳しく、不安は尽きません。自分らしく働くとは、どういうことなのでしょう。少人数のグループの中で自分の言葉で話し、互いに聴く体験の中で問題解決の糸口を見つける講座です。同じ時間と空間を共有しながら、「自分らしい働き方」を参加者と分かち合う中で見つめてみませんか？

再就職支援講座  
「気持ちとスキルのたな卸し」



日時：10月15日（金）  
10:00～12:00

場所：4階 集会室

講師：佐藤 由佳 氏

参加費：無料

申込：先着20名（要予約）

保育：要予約  
1歳～未就学児まで  
（10月1日締切）

厳しい雇用情勢の中、小手先のスキルだけでは就職活動を乗り切ることはできません。「自分は何のために働くのか」その意味と動機付けが明確になって、はじめて説得力のある応募書類が書け、自分の言葉で志望動機を語る事ができます。本講座では、あなた自身の自己分析や環境との関係性を整理することで、あなたが働く本当の理由と実現可能な働き方をみつけることをサポートします。

就職活動を始める前に、ぜひ受けていただきたい講座です。

事業報告  
「知ろう社会  
つながろう私たち」

7月23日、31日にリーブラ主催講座「知ろう社会 つながろう私たち」を行い、23日には弁護士の中野麻美さんに日本の雇用形態の問題について、31日にはNPOや有限責任事業組合で活動されているうてつあきさんと栗田隆子さんにそれぞれが取り組んでいる活動、二人が一緒に行っている活動について話していただきました。

中野麻美さんは、非正規雇用の問題がどのような歴史的・社会的状況において生じてきたかということを確認にされ、長年、長時間労働という男性差別、低賃金・不安定雇用という女性差別による人権侵害が放置されてきたことを指摘されました。

うてつあきさんと栗田隆子さんは、それぞれが取り組んでいる野宿者支援や「フリーター問題」の中で見えてきた課題をお話しされました。そして、近年大きな社会問題となってきた「貧困問題」の中で女性の問題が置き去りにされていることに疑問を持つ人びとが「出会い」、「女性の貧困」問題に対して、新たな活動やネットワーク作りをしていることを映像を交えて紹介していただきました。

両日で、日本社会が抱えている問題と、一人ひとりの可能性やつながりの大切さなどを知った、再確認したという声アンケートで多く寄せられました。

今回の講座をいかし、今後も社会の問題と個人の問題をつなげる視点を持ち、誰にとっても働きやすい・生きやすい社会をみなさまとともに考えていきたいと思ひます。

## インターンシップ2010

一港区立男女平等参画センター  
(リーブラ)で学び働く一

テーマ：ちょっと広がる!?『生き方』

変わるかも!?『働き方』

期 間：8月18日(水)～8月26日(木)

最終日

8月26日(木) ふらり8月

大学生による企画発表会 開催!!

リーブラでは上記の7日間、9名の大学生をインターンシップ生として受け入れます。

体験するプログラムは、センター受付就業体験や人生の先輩との座談会、男女平等参画基礎講座の受講、企業への取材、企画講座など盛りだくさんです。大学生のみなさんにはこれらの体験を通して、就職前に社会人になるイメージをもつことや、男女平等の基礎知識を学び、考えることにより、生き方や働き方の視点を広げてほしいと考えています。

インターンシップ最終日は、リーブラ主催事業「ふらっとリーブラ(ふらり)」において、7日間の学習を基に『港区内で男女平等を推進する企画を立てよう!』というテーマで、2チームに分かれて企画発表を行います。そして、参加者の投票により、2月の「リーブラフェスティバル2011」で実施する企画を一つ選考します。

学生の学びの成果をぜひ、見に来てください!!そしてリーブラの事業を、皆さんの手で選んでください。



ふらっとリーブラ8月  
「大学生による企画発表会」は  
8月26日(木) 13:00開始です!!

インターンシップの成果を  
ぜひ、見に来てください!  
お待ちしております!

## 平成22年度パワーアップ事業 一女性への暴力防止及び人権擁護 のための連続講座(全3回)一

「尊重されていますか?  
あなたの気持ち」

第1回 10月2日(土)

「あなたはDV被害者になっていませんか  
一抑圧された気持ちとは一」

講師：松田知恵さん

第2回 10月16日(土)

「自分の気持ちを素直に出していますか  
一上手に伝える方法とは一」

講師：松田知恵さん

第3回 11月13日(土)

「DV加害者はなぜ暴力をふるうのか  
一支配したい気持ちとは一」

講師：竹内由紀子さん

時間：13:30～15:30

場所：4階 集会室

参加費：各回500円

保育：要・申し込み

1歳～未就学児まで

保育料：子ども一人100円

保育の申込締切は、開催日の1週間前まで。

講座申込：第一回9/30

第二回10/14

第三回11/11

申込先：NPO法人男女平等参画推進みなと(GEM)

電話・FAX 03-3472-5787

gem-minato@kif.biglobe.ne.jp

平成22年度港区立男女平等参画センターパワーアップ事業に選定された連続講座が10月から開催されます。パワーアップ事業とは、男女平等参画社会の視点に基づいて活動を行う団体や個人に対して、活動のレベルアップを目的に、リーブラが企画や広報等の支援とともに、経費の助成を行うものです。

今年度は、港区で活動しているNPO法人男女平等参画推進みなと(GEM)による、女性への暴力防止及び人権擁護のための3回

連続講座、「尊重されていますか? あなたの気持ち」が選ばれました。DV(ドメスティック・バイオレンス)支援に関わる方や、これまでDVについて関心がなかった方も、お互いを尊重し合う男女関係について、一緒に考えてみませんか。

### 講座内容

「男性が指示し、女性が従う」ことを当たり前だと思っ

ていますか? 自分の気持ちや意見を相手に率直に言えない関係であれば、それは問題ではないでしょうか。夫やパートナーからの身体的、精神的、性的、経済的暴力DVは、男性がさまざまな力で女性を支配・抑圧することで、女性は自分の意見が言えなくなってしまいます。お互いが尊重される関係とはどんなものか一緒に考えましょう!

(GEMチラシより)

### DVとは?

内閣府男女共同参画局によると、「DV」とは、「配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった者から振るわれる暴力」という意味で使用されています。暴力は、身体的暴力のみならず、精神的・性的・経済的暴力も含まれます。配偶者暴力防止法においては、被害者を女性には限定していません。しかし、配偶者からの暴力の被害者は、多くの場合女性です。

平成21年の警察庁犯罪統計によると、配偶者間(内縁関係を含む)における犯罪の被害者のうち、傷害94.5%、暴行93.6%、女性が被害を受けています。また、内閣府の調査によると、平成21年4月～22年3月、配偶者暴力相談支援センターにおける暴力が関係する相談件数の割合では、99.0%が女性からの相談となっています。平成21年内閣府の調査によると、成人女性の3人に1人がDV被害にあっています。

配偶者からの暴力など女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害する重大な問題です。リーブラのパワーアップ講座に参加して、一緒に考えてみませんか。

## 芝浦運河まつり ボランティア募集！！ 10月3日（日）

昨年に引き続き、今年もリーブラは芝浦運河まつりに参加します！

運河まつりは、地域の方にリーブラを知っていただく、年1回の貴重なイベントです。

私たちスタッフとともに、リーブラを地域の皆さんにご紹介しませんか！

■ボランティア募集日時■  
10月3日（日）10時～17時

詳しくは、リーブラ事務局（中村）へお問合せください。ご応募お待ちしております！！



昨年の様子↑。パネル展示やアンケート調査を実施しました。

## リーブラ相談室レポート ～平成21年度の 相談から～＜その3＞

昨年度はリーブラ相談室発信事業として「女性のためのグループカウンセリング」を実施しました。相談で語られた、家庭や職場で「言いたいことがいえない」「自分らしく生きられない」という、幅広い年代の女性の声に応え、企画しました。講座中は、各々が抱える悩み、苦しみ共有されたことで、孤独感や閉塞感が緩和し、参加者同士のふれあいを通して、一人ひとりのエンパワーメントにつながる効果が得られました。こうした効果を維持・継続していくために、今後は、単発（1回限り）の講座だけでなく、連続性のある講座づくりを検討していきたいと思っています。

## リーブラ相談室 心のサポートルーム 便り

警察庁は、8月5日、今年上半期（1～6月）の児童虐待事件の検挙件数が過去最多の181件に達したと発表しました。7月のリーブラ相談室でも、子育て中の女性からの相談件数が増えており、主に「自分自身の生きかた」や「夫婦関係」の相談件数が多くありました。リーブラ相談室では、このような相談の背景に潜む虐待につながる芽を、カウンセリングによって防ぐことができるように、きめこまかい対応を心がけています。

＜開室曜日・開室時間＞  
火曜日 16:00～20:00  
水曜日 10:00～16:00  
金曜日 10:00～16:00  
金曜日 18:00～21:00  
相談室（直通電話）  
03-3456-5771

### ＜男女平等関連情報＞ ～世界の動き、日本の動き、私たちにできること～

リーブラ便りがみなさんのお手元に届くころにはすでに終了していますが、8月14日（土）に第7回東京プライドパレードが開催されました。主催団体は「東京プライド」で、団体の目的は「LGBT（レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー）などの性的マイノリティとその支援者が連帯し、抑圧・差別されることのない社会を目指す」こととされています。

アイスランドの首相に昨年就任したヨハナ・シグルザルドッティル氏は、世界で初めて同性愛者であることを公表した首相であり、今年6月にはパートナーの女性と正式に結婚しました。また、今月4日にアメリカ・カリフォルニアの連邦地方裁判所は、同性間の結婚を違法とするカリフォルニア州法は、憲法が定める法の下の平等に違反するとして、同性婚を認める判決を言い渡しました。

セクシュアリティに関係なく、全ての人々がカップルの婚姻という形態を支持しているわけではありませんが、既存の枠組みに「はまらない」人びとが差別や不利益を受ける社会制度や慣習について一人ひとりが自分の問題として受け止め、多様性を否定しない社会のあり方を考えていくことが大切なのではないでしょうか。東京でパレードが行われる今月をこうした問題を考える機会にしてはいかがでしょうか。



2010年8月						
日	月	火	水	木	金	土
×	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
×6	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

○ …講座    × …休館日



男女平等参画センター「リーブラ」3～5階

発行元	港区立男女平等参画センター リーブラ
住所	〒108-0023 港区芝浦3-1-47
TEL	03-3456-4149
FAX	03-3456-1254
HP	<a href="http://www.minatolibra.jp/">http://www.minatolibra.jp/</a>
施設利用時間	月～土曜日 9:00～21:30 日曜日 9:00～17:00 *祝日はその曜日に合わせての閉館となります。
窓口受付時間	月～土曜日 9:00～20:00 日曜日 9:00～16:00
休館日	・年末年始(12/29～1/3) ・臨時休館日(8/1,15,9/12,2/6,20)

発行日：2010年8月20日

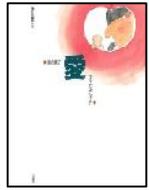
# 今月のおすすめ図書

今月の新着図書数 42冊



## 『女性同士の争いはなぜ起こるのか』 妙木 忍著

膨大な資料・データを基に書かれた「主婦論争」の歴史についての一冊。「負け犬」「おひとりさま」など、メディアで断片的に取り上げられることの多い女性の生き方に関する論争を包括的にまとめています。1950年代～現在までの研究、行政データ、雑誌やテレビで取り上げられた話題まで幅広く網羅し社会現象を捉えており、興味深いです。



## 『愛 -考える絵本 9-』 文・落合恵子 絵・ワタナベケンイチ

「愛って何だろう?」、自分の周りの人への愛をはじめとして、障がいを持っている人や人種の違う人、同性愛の人、そして、自分自身への愛についても考える絵本です。本書を執筆する3年前、著者は母親を亡くしています。母親の介護を通して、また、深く考えることになったといいます。あなたも、愛とは何か、本書を読んで考えてみませんか?



## 『男子家事』 阿部絢子監修

モテるためでも婚活のためでもなく、リッチな食材を買い集め、手間ヒマかけて「ごちそう」を作るのではない。基本の料理から、おいしいコーヒーのいれ方、スニーカーの洗いうち、台所や部屋をきれいに保つ小道具・心得などなど。「シンプルで、小さく、環境に負担をかけない循環型の暮らしを心がける」「家事ができる男子」のための料理・洗濯・掃除の手引き書です。



## 新着図書のご案内

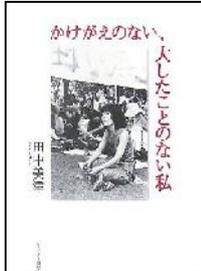


著者名	書名	著者名	書名・DVDタイトル
女たちの現在を問う会	ベトナム戦争の時代 女たちは	岡沢憲美	少子化政策の新しい挑戦
妙木忍	女性同士の争いはなぜ起こるのか —主婦論争の誕生と終焉—	女性労働協会	「女性としごとの未来館」展示案内
古賀令子	「かわいい」の帝国 —モードとメディアの女の子たち—	イメージ&ジェンダー研究会	イメージ&ジェンダー研究会 vol.6
叶恭子	叶恭子の知のジュエリー12カ月	イ・ヨンチェ	韓流が伝える現代韓国
辛淑玉	鬼哭啾啾「楽園」に帰還した私の家族	グループウイズネス	小さな女の子・男の子のためのガイド(性虐待を生きる力に変えて)
高原英理	無垢の力<少年>表象文学論	佐高信	君、今この寂しい夜に目覚めている灯よ —佐高信対談集—
新川てるえ	子連れ離婚を考えたときに読む本	シービンガー	科学史から消された女性たち
カリヨン+てんぼ+パオ+モモ	居場所を失った子どもを守る —子どものシェルターの挑戦—	萩原弘子	ブラック—人種と視線をめぐる闘争
女性とすまい研究会	同潤会大塚女子アパートメントハウスが語る	永易至文	同性パートナー生活読本 同居・税金・保険から介護・死別・相続まで
森田ゆり	沈黙をやぶって—子ども時代に性暴力を受けた女性たちの証言—	阿部絢子	男子家事 料理・洗濯・掃除の新メソッド
NPO法人日本フェミニストカウンセリング学会編集委員会	フェミニストカウンセリング研究vol.8	佐伯順子	「女装と男装」の文化史
すぺーすアライズ	DV被害当事者の自立支援に関する調査報告書	安積遊歩	いのちに贈る超自立論 —すべてのからだは百点満点—
大沢真知子	日本型ワーキングプアの本質	辛淑玉	辛淑玉の激辛レストラン—上野千鶴子・佐高信・安部謙二・辛淑玉の4兄妹対談—
野沢慎司	Q&Aステップファミリーの基礎知識 —子連れ再婚家族と支援者のために—	角田光代	女ともだち
ポルノ被害と性暴力を考える会	DV被害とポルノ被害	中島たい子	建てていい?
ポルノ・買春問題研究会	ポルノ・買春問題研究会論文・資料集No.5	沼田まほかる	彼女がその名を知らない鳥たち
ポルノ・買春問題研究会	ポルノ・買春問題研究会論文・資料集No.6	近藤ようこ	ルームメイツ1~3巻
ポルノ・買春問題研究会	ポルノ・買春問題研究会論文・資料集No.7	落合恵子	愛 —考える絵本 9—
ポルノ・買春問題研究会	ポルノ・買春問題研究会論文・資料集No.8	ニッキ・ジョヴァンニ	ローザ
ポルノ・買春問題研究会	ポルノ・買春問題研究会論文・資料集No.9	ガブリエラ・ノイハウス監督	1000人のピースウーマン(DVD)
中里見博	ポルノグラフィと性暴力	ミカ・X・ペレド監督	女工哀歌(DVD)

# 男女平等について考えてみませんか？特集

リーブラ図書資料室所蔵、おススメの図書を紹介しています。  
この夏、手にとってみませんか？

## 男女平等関連図書



### 『かけがえのない、大したことはない私』田中美津著

70年代ウーマンリブを導いた存在である田中美津氏の90年代以降のインタビューや雑誌掲載文をまとめたものです。筆者自身の生きづらさを発端にした、自分の言葉で語られるフェミニズム。著者の辛辣で繊細な言葉に、女としての自分を振り返り、自分の中のタテマエの壁が崩されるように感じます。「大したことはない私」を大切にしようと思える一冊です。



### 『心的外傷と回復<増補版>』ジュディス・L・ハーマン著 中井久夫訳

本書は、フェミニズムの視点を明確に持つ精神科医・ハーマン氏によって、児童虐待や性暴力被害者、DV被害者、そして戦闘神経症の被害者の心的外傷とその回復過程および治療に関する代表的な研究書です。回復のためには、その後を生きる人自身が自分の回復の主体になるような支援が必要であるという臨床実践家としての視点は、単なる研究書にとどまらず、支援者のバイブルとなっています。



### 『せっちゃんのごちそう』辛淑玉著

貧しさや差別の中で必死で働き、生きてきた筆者が、子どものころから現在までの食べ物にまつわる悲しい・うれしいエピソードを語った初の自伝。民族・性・貧富・出身による複合的な差別を受けても、「あがき抜いて」生きてきた筆者の率直な言葉が心を打ちます。どんな社会だったら多様な人びとが住みやすいのかを、一人ひとりが自分の問題として考えるために大切な一冊です。

## 講座関連図書

7月23、31日に行われたリーブラ主催事業「知ろう社会 つながろう私たち」の講師3名の本です。社会の状況を知り、自分の働き方や生き方を改めて考えようとしている人におススメです。



### ①中野麻美『労働ダンピング』

日本の雇用形態の問題点を弁護士の立場から鋭く指摘しています。

### ②うてつあきこ『つながりゆるりと』

誰もが出入りできる居場所を作ろうとした数年間を、失敗やこれからの課題も含めて振り返った一冊。

### ③栗田隆子他『フリーターズフリー』

「フリーター問題」を「当事者」が多様な角度から語っている雑誌です。

## リーブラ図書資料室のご案内

- 図書館システム導入により、港区内の図書館資料の貸出・返却ができます。
- 図書資料室では、男女平等参画・ジェンダー関連の図書資料（絵本・図書・ビデオ・DVD・行政資料など）を、幅広く収集しています。
- 一回に10冊まで貸し出し可能です。
- 利用登録が可能な方：東京23区在住・在勤の方（証明書が必要です）。
- 開館時間 月曜～土曜 9時から20時まで  
日曜 9時から16時まで  
※リーブラ貸室業務の時間とは異なります。

